

「新聞よめたよ」



新聞の作り方を学んだ八沢小の児童

八沢小で「民報出前授業」

1、2年生 記事さがし体験

南相馬市の八沢小の一年生と二年生は二日、新聞について学んだ。福島民報社の記者から「新聞は、なんのためにあるのか」「新聞はどのようなにつくられているか」の話聞いた。新聞を見て、気になる写真や記事をさがし、ノートにはって感想を書いた。

児童は、はじめに「どうして新聞があるのか」をみんなでかんがえた。記者から、人間と、ほかの生きものとのちがいを聞いた。「みんなできようりよくして生活している人間は、よの中のこと知らない」とくらしについて「新聞は、よの中のできごとをつたえるためにある」とせつめいをうけた。

つづいて、新聞がどのようにして作られているかをえいぞうで見た。「新聞記者は、たくさんの人から話を聞いて、まちがいがなければどうか、たしかめてから記事をかいていること」「新聞は、見た人がわかりやすいように、くふうをしていること」を学んだ。

この日の新聞から気になった写真や記事をさがして、きりぬいた。じゅぎょうのようすをつたえる「号外」が、みんなにくばられた。